

東京教区時報

第1230号
2011年11月20日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

11月の代祷・信施奉献
人権活動を支える主日(11月最終主日11・27) 笹島キリスト教連絡会のため 諸聖徒幼稚園のため 障害者週間のため(13日・19日)
こどもの聖歌創作ワークショップ第3回 新たな創作品を持ち寄ろう みがきをかけて仕上げよう。26日(土)14時
聖十字教会(東急世田谷線「松蔭神社前」下車。無料。照会〓教区事務所・宣教主事。
立教女学院降臨節第一主日 唱詠晩禱 27日(日)16時、同院聖マーガレット礼拝堂。メッセジ〓佐々木道人司祭。Or・指揮〓岩崎真実子、奉唱〓同礼拝堂聖歌隊ほか。照会 03(5370)3038・キリスト教セン

| 今週・来週の予定 | |
|--------------|---|
| 11月20日~12月3日 | |
| 20(日) | 降臨節前主日 主教巡回 日白聖公会 外濠G教会協議会 アドベント前の光の礼拝・震災記念聖餐式 モニカ会幹事会 |
| 21(月) | 人権委員会 ハラメント防止委員会 |
| 22(火) | 銀座朝禱会 |
| 23(水・休) | 第117(定期)教区会 |
| 24(木) | 第8回委員長連絡会 |
| 25(金) | 東関東協議会 |
| 27(日) | 降臨節第1主日 主教巡回 聖パトリック教会 城南G教会協議会 下町G教会協議会 多摩G教会協議会 環状G教会協議会 |
| 28(月) | ~30(水)まで 祈りと学びの集い:パ レステナの平和を願って |
| 12月3(土) | カパティランクリスマスP 正義と平和協議会・講演会 ・協議会・運営委員会 |

| ター(月火木金) | 一羊会・クリスチャン医師 | 大石誠之助さんを記憶し、公正な裁判を求める祈りの会 | (土)14時、日本基督教団信濃町教会。資料代千円。照会 04 | 2(393)2256・森田。 | 2(393)2256・森田。 | 2(393)2256・森田。 |
|----------|--------------|---------------------------|--------------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 10月14日 | 寺村 治子(96) | 10月30日 | 篠田和喜子(88) | 11月9日 | 梅村 睦子(91) | 小金井 |
| 10月12日 | 内田 研介(70) | 10月12日 | 内田 研介(70) | 10月12日 | 内田 研介(70) | 10月12日 |

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

私は葛飾学園で学童保育クラブ指導員をしています。改めて子どもを育む仕事をさせて頂いていることに感謝しています。学童保育クラブは1年生から3年生まで下校後から19時まで児童を預かり見守ります。
今年出会った子どもに、とても気になる女の子がいました。その子は全く学童保育に馴染まず来所しては泣いてばかりです。「先生、悲しくなる」といつてはいつも泣いていました。取っつき島がなく私はただ膝の上に抱いたり、手を繋いだりすること、背中をさすったりしかできませんでした。家でも母親に泣きすが「学校も学童も行きたくない」と訴えることもあったようです。半年もの間

《み手のなかで》

傍らに寄り添って

仕事と子育ての間で葛藤し、お母さんも悩みつかれていました。そして先日、「今はこの子のそばにいてあげたい」とい仕事を辞めることにしました。との知らせがありました。そして手紙に、「短い間でしたが娘を支え、母親の私を支えてください」と書かれてありました。このお母さんの決断は子どもの叫びにこええたものでしょう。
私は手のかかる面倒と感じる子どもほど、実は助けを求めているのだと感じます。イエス様は病気の人や悲しむ人の傍らに佇まれました。私もその様な者でありたいと思います。そして神様がこの親子に豊かな慈しみを注がれますように、さまざまな困難を乗り越えて行けますように祈ります。(葛飾学園児童指導員)

信仰と生活委員会報告(11月9日)
* 宣教主事・各委員会・教会グループ等報告。

* 「こども」の聖歌創作ワークショップ」第2回の報告。第3回は11月26日聖十字教会(詳細は4面に)。作成された聖歌は各教会へ配布し試用してもらう。

* 冊子「裸足の宣教」点字版作成について報告と協議。

* 11月19日に開催する「裸足の宣教」の学び(講師「ブラザーギラン、会場「聖十字教会」)について役割分担と準備。

* 12年度信施奉献先・代祷表の確定。

* その他

正義と平和協議会緊急講演会「チエルノブイリ救援活動を通して福島を考える」 講師「

池田光司(NPO法人チエルノブイリ救援・中部 運営委員)。12月3日(土)14時から16時、聖マーガレット教会。引き続き協議会開催。無料、参加歓迎。照会「教区事務所」。

みんなでつくるバリアフリーのクリスマスパーティー 外濠グループ。「障がい者」関連活動委員会共催。12月10日(土)13時から16時、目白聖公会。

「互いにあらゆる違いを乗り越えて、全員でパーティーを造りあげる」趣旨で11回目。参加費500円。申込期限「12月3日。申込&照会 03(3951)5010・会場教会。

聖パウロ教会創立135周年記念「歌による(メサイア抜粋)降臨節前夕の礼拝」 11月26

日(土)15時、指揮「スコット・シヨウ、奉唱「聖パウロ教会聖歌隊と仲間たち(オケ付)。照会 03(3710)6031・同教会。

山手教会グループ降臨節前夕《光の礼拝》 26日(土)18時、聖三一教会礼拝堂。説教「前田良彦司祭。奉献先「きぼうのいえ。

環状教会グループ東日本震災チャリティコンサート DVD上映・坪川真理子・斉藤和志キター&フルートコンサート。26日(土)13時、前売り二千円。会場・照会先「阿佐ヶ谷聖ペテロ教会 03(33338)4145。

夕の黙想会 30日(水)19時「21時。指導「広谷和文司祭(聖公会神学院校長)、称名念禱「南無アツバ」による黙想。池袋聖公会。入場無料(会場献金)。

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

【クローズアップ】101

「いっしょに歩こう!」
〜仙台オフィスの日々〜

私は活動やスタッフを支える総務担当として6月からプロジェクトに加わっています。紙面の許す範囲で、スタッフ生活や思いの一端をお伝えします。

事務所は市内、仙台基督教会向かいにあり、本部長・東北教区加藤主教のもと聖職3名、5教区7名の信徒が常勤スタッフとして活動の核を担います。一日は、仙台在住の信徒や各教区からのボランティアも加わり掃除と9時のお祈りで始まり予定を確認して活動に入ります。被災地域は広く片道2時間の行程はザラで、各教区提供の車など10台が活躍します。夕刻に戻

り報告などの作業後、概ね20時に終業します。土日は閉所日ですが、実際には定例活動や行事に出かけます。スタッフは事務所から約4km、車で15分圏にある「ナザレの家」や近隣のアパートに住みます。殆どの時間を共に過ごすことから、合宿のような生活感が漂います。

広範激甚な自然災害、今も続く科学災害を前に、私達の力はあまりに小さいことを痛感させられます。また、多くの方との出会いを通して「いっしょに歩く」ことの意味、大切さ、難しさを感じます。今夏、日本各地から来仙のボランティアが異口同音に言われたのは、東北から離れた地でテレビのニュースを目にし耳にしている、いかに

本当の事を知ることができていなかったのかということ。時

時は更に進み、被災者・地域の状況は個々様々に変化し混沌としています。こうした現地で活動の当事者である私たちは、何をどのように伝えたらよいのか、そして、もっと多くの方を活動の輪の中へ入れていくにはどう働きかけたらよいのか、課題を突付けられています。今、息の長い取組みを想う時、被災困窮されている方々と「いっしょに」、日本中の支えて下さる方々と「いっしょに」、を実践できるよう更に努力が必要だと感じています。それぞれのお気持ちを丁寧に繋げて歩みたいと思えます。

聖アンデレ教会 松村 豊